

紹介された本

『失樂園のイヴ』 藤本ひとみ 講談社 2018

『さかさ町』 F.エマーソン・アンドリュース
岩波書店 2015

『姑獲鳥の夏』 京極夏彦 講談社 1998

『ラーゲリより愛を込めて』 辺見じゅん
文藝春秋 2022

『マカン・マラン』 古内一絵 中央公論新社 2015

『腹を割ったら血が出るだけさ』

住野よる 双葉社 2022

『勝ち続ける意志力』 梅原大吾 小学館 2014

『豆の上で眠る』 湊かなえ 新潮社 2017

『かがみの孤城』 辻村深月 ポプラ社 2017

『ハーモニー』 伊藤 計劃 早川書房 2008

『あの夏が飽和する』 カンザキ イオリ

河出書房新社 2020

『やさしさの精神病理』 大平健 岩波書店 1995

『グッバイ宣言』 三月みどり KADOKAWA 2021

『読書嫌いのための図書室案内』

青谷真未 早川書房 2020

編集・発行／オーテピア高知図書館 ティーンズ担当

〒780-0842 高知県高知市追手筋 2-1-1

Tel：088-823-4946（代）

オーテピア高知図書館ウェブ・サイト ティーンズ・コーナー

<https://otepia.kochi.jp/library/teens.html>



ティーンズ通信

第27号

2023年12月

ビブリオバトル特集号！

ビブリオバトルは、お気に入りの本を持ち寄り

その魅力を紹介する書評合戦です。

11月23日に、県内の高校生を対象に開催した

高知県大会の様子をお伝えします！



オーテピア高知図書館





投票の結果、最も読みたい本としてチャンプ本に選ばれたのは……

『失樂園のイヴ』(藤本ひとみ／著)

〈あらすじ〉

進学校に突如現れた謎の女・絵羽は、ある野望を胸に和典に近づく。彼女に翻弄されながらも、得体の知れない闇を感じ真相を探り始める。

紹介者は吉本和夏さん（高知県立山田高等学校 2年）です。令和6年1月28日に東京都で開催予定の「全国高等学校ビブリオバトル2023 決勝大会」への意気込みをどうぞ！



制限時間は5分！

本の魅力を語り尽くす



高知県大会では、すごく本の魅力を伝えることができました。また、他の本の魅力も感じることができ、本屋さんや図書館にいったら絶対に読もうと思いました。反省点を修正し、決勝大会でばっちり決められるように頑張りたいです！